

職場ウォッチングう～



『当院の震災対策について』

今回3月11日の東日本大地震で犠牲になられた方々およびご遺族の皆様にはお悔やみを申し上げます。1日でも早く復旧されますように心からお祈り申し上げます。

当院は開院時より年/2回避難訓練(火災・地震)を実施し、また、5年に1回は海部南部消防署と合同で避難訓練(はしご車にて救出訓練・消火訓練・起震車による地震体験及び学習会・ビデオ学習会など)をおこなうなど、震災対策に精力的に取り組み、年3回は避難訓練とは別に他の訓練を行っています。

愛知県は東南海地震・東海地震・南海地震がいつ発生してもおかしくないと言われています。当院は海拔ゼロm地帯の中に建っています。現状は-1m~-2mとなっています。近隣には木曾川・日光川が流れており、決壊すると弥富市は50cm~5mの浸水が想定されています。(弥富市ハザードマップ参照)事実上-1m~-2mのため最高7m浸水すると考えられ当院では3F付近まで浸水します。今回の東日本大震災をうけて防災計画を見直しましたのでご紹介いたします。

当院防災計画の見直し

災害項目

- ・津波、洪水対策追加

避難経路

- ・津波を想定した避難経路

(外装工事にて新たに避難経路を追加)

緊急時連絡方法の整備

- ・緊急連絡網にメールアドレスを追加

(主任以上対象)

- ・メール送信と併用で連絡網を活用

- ・災害優先電話の設置

非常食(備蓄)、備品

保管場所、食数、検討

(厨房→4F倉庫へ備蓄保管を変更。1日→3日分非常食数変更)

- ・衛生材料(4F倉庫へ愛知県防災マニュアル推薦の物品を備蓄)

- ・持ち出し備品整理(災害時すぐ持ちさせるように災害リュックサックを各現場に配置)

院内転倒防止対策

- ・院内の本棚、キャビネット、冷蔵庫、整理棚など固定用具で固定

地域住民の受け入れ

- ・町内より病院より高い建物ない為、津波・洪水発生時避難所として要請があり、受け入れを検討中

医療法人借行会として

各施設管理担当を集めて法人本部主催の災害対策委員会を設置し毎月小羽事務長が出席しています。

災害対策委員会で各施設に自家発電機を設置するよう検討中

今後も当院としましては、随時防災計画の見直し及び各職員へ防災意識を高めるように防災委員会で検討したいと思います。また、私的にも地元の消防団に5年前より入団しました。防災知識及び技術を防災委員会で生かせるよう頑張ります。

防災委員会事務局 浅井



緊急時連絡方法の整備

	IP電話	災害優先電話	メール
停電時	×	○	○
発信	IP電話設置場所のみ	災害時に制限かられない	送信可能
受信	IP電話設置場所のみ	発信電話が制限されれば受信不可	混雑時に時間を要す
使用方法	・緊急時の外部との連絡手段 ・グループ内の通信	緊急時の外部との連絡手段	緊急連絡網
通信方法	○ +相手電話番号	事務所の特定電話より発信	各携帯電話
備考	回線が切れれば×	回線が切れれば×	